



9月11日、市内の4つの小学校が、小網代湾で、マダイとクロダイの稚魚放流に参加しました。

午前中は三崎小（3年）と岬陽小（4年）、午後は名向小（3年）と剣崎小（3年）が体験しました。

最初に、県栽培漁業協会の方のお話（アマモの大切さやタイの稚魚放流の必要性について）を聞いた後、小網代パール海育隊の皆さんの手作りのシューター（すべり台）に、稚魚を流して、海に放流しました。子どもたちは大喜びです。みんな何度も繰り返し挑戦していました。

終わった後、何人もの子どもたちが「楽しかった」とつぶやいていたのが印象的でした。小パール隊の皆さん、栽培漁業協会のみなさん、たいへんお世話になりました。一日ありがとうございました。

子どもたちの感想は、次の通りです。

- ・前に、魚をさわって、きれいになったことがあったけど。今回の授業を受けて、魚が好きになりました。授業もとても楽しかったです。
- ・マダイとクロダイの泳ぐ速さにおどろいた。
- ・メスが卵を産むときに、海面に上がってくるということにおどろいた。
- ・放流したマダイたち、死んだらどうしよう、と思った。
- ・すべり台に流すとき、おっきくなってねって、思いを込めて流してあげました。
- ・マダイとクロダイが、すべり台をすべって、ピチピチはねて流れていくのがすごくかわいかったです。
- ・マダイの放流をして、いい経験になった。こういう機会があったら、また受けてみたいです。もっといろいろな魚を見てみたかったです。
- ・クロダイの方が、歯がするどいと聞いておどろいた。
- ・マダイとクロダイは、色がちょっとちがうだけかと思ったけど、すみかもちがうことでびっくりした。
- ・海や森をもっと大切にしたいと思いました。三浦市に住んでいて、森と海の交わりの良さが分かってうれしいです。
- ・大きくなって、元気に戻ってきてほしいです。また、マダイの放流に行きたくくなりました。
- ・やり方は難しかったですが、マダイやクロダイの旅立つ姿を見られてうれしかったです。
- ・魚がスライダーをしているようで、ぼくも放流されたいと思った。



- ・クロダイの赤ちゃんがとてもかわいかった。また海の授業をうけたいです。
- ・マダイがタイの王様といわれていることにおどろいた。
- ・マダイは、赤色だと、深海ではねらわれにくい、というのがおどろいて勉強になった。
- ・ぼくの将来の夢が水族館の飼育員だから、またやりたいです。

（文責 事務局長 渋谷 総一）

海洋教育についてのお問い合わせは、本研究所まで（046-854-9443）